時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり　時事新報には每號詳細なる商況物價の報

時事新報

第三千九十九號
明治廿四年八月五日　水曜日
舊暦辛卯七月朔日(癸亥)
日出午前四時五十二分　日入午後六時四十一分
月出午前四時五十四分　月入午後七時二十二分
滿潮午前五時五十分　午後六時十分
(西暦一千八百九十一年)

時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し

一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓○一箇年前金六圓○月曜日休刊

○時事新報社ヨリ直接ニ郵送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料(前金)

	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行五號活字廿四字詰 一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填塞するより各社同一の記事を掲ぐること寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生したる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

艦隊と生絲

支那の北洋艦隊が此程我國に來航して舳艫相啣むの偉觀を示せしより俄に世上の評判を高くし其船體の堅牢壯大なるは我海軍の及ぶ所にあらず將卒の熟練も亦侮る可らず抔とて緩帶長袖の論客のみか數年前までは支那の軍艦と戰ふに武器を須ひず繩一筋にて分捕すべしと勇みたる軍人さへも今や舌を捲て竊に驚き海軍擴張論に一層の急を加へたるものゝ如し支那の海軍蓋し或は進步せしならん列國競爭の今日に當り我輩は何事も他に後れを取るを好まざる者なれば啻に國防の點のみならず日本をして東洋に重きを成さしめんが爲め又我が商略を輔護せしめんが爲め種々の邊より觀察して海軍の擴張は素より希望する所なれども世人が今支那海軍の進步に驚き俄に猛省するの色あるを見るに付け我輩は別に一事の注意を乞ふて警戒を促さゝる可らざるものあり即ち同國に於ける生絲の競爭是れなり抑も生絲は我國輸出の重要品にして今後我立國の命脈は唯其の縷々たる一縷に懸ると何人も爭はざる所なれば其商況の一進一退こそ實に國運の興廢を來たすものにして重く依頼せざる可らざる至寶なれども此品たるや獨り日本特有の物産にあらず伊、佛のみとは暫く措き隣國支那は天與の蠶地にして其領域甚だ廣く剩さへ天然の蠶質を比較すれば我國に優ること一段なりと云ふ唯これに人工を加へて製造するの熟練に乏しきが故に需要地の評判宜しからず隨て販路を擴張すること大ならずして我蠶業に取ては俗に云ふ鬼の來ぬ間の洗濯なれども若しも一朝睡を醒まして製絲改良の實を擧るに至るときは世界の生絲市場に大變動を及ぼす可きは必然の勢にして蠶業立國の我國の如きは之が競爭に惱まさるゝこと果して如何計りなる可きや同じく是れ進步にても生絲の進步の懼るべきは夫の海軍の進步の懼るべきよりも更に大に懼るべきものなるに世人は獨り目前の海軍に切にして將來の生絲に着意せざるが如きは我輩の竊に憂ふる所なり蓋し軍備は假令へ今日に不充分なるにもせよ資力だに增進すればイッにても之を擴張すること難からざる其上に一任戰爭に打負けたりとて干戈の敗軍は之を癒すことも容易なるに反し既に商賣上の戰に敗るゝときは再び救ふに由なきに至る之を喩へば兵戰は猶ほ暴風の枝を折るが如く商戰は猶ほ淫雨の根を腐らすが如し一は外見に苛烈にして一は内實に慘酷なれば目に見て情を動かすこと外見に如くはなしと雖も心に問ふて人を恐れしむるは内實にあり我輩の常に商賣を重んずるは主として此邊の意味にして今回の事も艦隊の面目を革めたるに驚かんよりは寧ろ生絲の更に驚くべき時あるを察し其の未だ著大ならざるに先だちて悔を取らざるの工風こそ實に方今の急務なれども扨我が生絲の實況を見れば養蠶製絲に改良を要する所少なからざるのみならず其最も欠點とすべきは商路の不慥なることにして恰も投機業の如く賣買の高低多寡年々區々にして毫も標準となす可きものなければ絲商も買入注文の見込立たずして爲めに纔に發達したる地方の蠶業家を沮喪せしむることあり又大資本を抱ける商人も其危險なるに逡巡して之に從事すること能はず立國の命脈を託すべき生絲にして宛然擲棄の姿に在るは正に今日の病症なりと云ふ可し殊に海外直輸出の如きは絲業の爲めに最大一の要務なれども眇爾たる横濱同伸會社が其筋より客なる小補助を蒙りて微かに經營するあるのみにして是れとても近來既に補助の道を失ひたる上は所詮從前の如く永續して能く發達すべきにあらず左ればとて直輸出の幼稚なる今の時に當ては假令へ其事國家の爲めにして又永遠に利益あるべきにせよ年々の損失は民間私人の堪ふる所に非ずして此有樣にて荏苒經過するときは久しからずして直輸の道も全く絶え生絲市場はますゝ外人に蹂躙せられて投機の勢、年と共に漸み前途進步の期なからんは少しく事情を知る者の皆悚然として歎息措かざる所なり啻さへ斯る不祥の兆候あることあるに天然の美質を具へたる支那の蠶絲に改良を加へ卒然として競爭場裏に猛威を逞ふすることあらば恃み切たる我生絲も早や是迄と覺悟せざる可らず之を艦隊の武威に比すれば孰れぞや況んや近來は支那絲も漸く販路を擴め本邦絲の大得意なる米國に輸出するもの報告表に徵して少なからざる上に此程も同國の慈禧皇太后は蠶織を奬勵せらるゝの目的を以て宮中に綺華館を設け全國に令して熟練の匠人を撰拔し着々經營せらるゝ等決して之を等閑に付す可らず我朝野にして今日に振はずんば我輩は噬臍の悔、遠きに非さるべきを恐るゝなり願ふに世人は國防の爲めに海軍の擴張すべきを知り軍艦の入費の莫大なるを吝まざらんとせり若しも生絲の我國に重要なるは軍備の重要なるに比して優るあるも劣る可らざるを知らば生絲市場に改良の方法を施すと齊しく國防に費用を投ずるの心を以て移して蠶業の前途を保護し敢て國財を惜まざらんこそ愛國の實なる可し其手續方法に至ては別に講究する所あるべしと雖も今や支那艦隊の來航によりて世に國防論を催はすを聞き我輩は爰に商事上の國防を陳べ以て絲業保護の決心を促す者なり

雜報

○二見浦に於ける皇太子殿下　去る廿九日午後一時御召艦浪速にて鳥羽港へ御着艦遊ばされ同三時過ぎ二見浦賓日館に着御あらせられたる趣きは曾て本紙に記載せしが尚ほ續報に據れば殿下は愛知縣武豐港御解纜後艦中にて艦長新井大佐に案内を仰付られ大小砲の裝置方發射の模樣、艦隊の進退、機關の運轉等一々御質問の上殘る隈なく閲覽あらせられて二時間餘りの航海をも別條なく賓日館に着御の上同夜館上より供奉官と共に煙花を御覽ありて午後九時過ぎ寢に就かせられ翌朝五時二十分御起床同七時館前に同地小學校生徒の體操、遊戯、銃劍術、綱引及び體育會員の柔術、弓術、鎗術等種々の遊技を御覽せられ午後よりは御養生の爲め同館前の海中にて炎天をも厭ひなく供奉の方々と共に凡そ三十分間餘り御游泳あらせられたる由なるが朝夕の御食事等は別段異狀なく益々健勝に亘らせらるゝよし同縣下北牟呂郡長下村氏は先月十日同郡蒲浦の海中にて如何なしたりけん一疋の牡鹿白波の間に游ぎ漂へるを認め手自ら捕獲せしが今回皇太子殿下の御來遊を幸ひ上覽に備へんと出願せしに早速聞届の上館前にて御閲覽あらせられ殊の外御滿足に思召されたるよし又同地の神苑會にては鳥羽の漁夫に命じ新鮮の海魚八十尾を捕獲せしめ新調の小舟に入れ閲覽に供して一方ならぬ嘉賞を蒙むり度會郡北濱村大字有瀧の漁夫は二艘の漁船に乘じて賓日館前の海中に引網を爲し殿下及び中山侍從其他供奉員の歡覽中許多の海魚を捕獲し生魚の儘鱗尾潑溂たる樣を御閲覽に供せしに御喜び斜めならず直ちに御買上に相成り其内一二品供御に充てられ其餘は同地方の縣官郡吏警部町村役員等に下賜され一同聖恩の厚きに感じ難有拜戴せりと云ふ殿下は遠路御行啓に相成り朝起夜寢日頃御勵精なあらざる上に海水の入浴と云ひ煙火、獻品、捕漁の閲覽と云ひ聖意を慰むる事物多きにも係らず御勸學の一事に至りては土曜日曜を除くの外毎日午前八時より同十時まで東宮職御用掛丸山錦作氏の敎授にて西鄕、甘露寺、岩倉等の御學友と共に修學遊ばさるゝ由を同地方の人民は聞き傳へて殿下の御勵精に感佩せるもの多しと同地よりの報

○要塞の固めと測量　軍務當局者の眼より見るときは兵備の未だ完からざる事一にして足らずと雖も彼の陸軍省所管に屬する要塞の固めの如きは向ふ九十箇年を期して大成する譯あれば如何にも齒痒き事に思ひ斯く多くの歲月を經る間には如何なる事の出來するやも知れず心許なきこと限りなしとて只管その速成を望み現在一年に二十萬圓許を支出する其費用を增して大成の年限を短縮せんとは陸軍部内に於ける一の希望なり然るにまた之と輕重して相讓らざるのみかは寧ろ其上に在りとも云ふべきは測量の一事なり蓋し測量の事たる啻に兵備の上に於て必要なるのみならず一般社會の事
業に對しても利する所少から
れば今日鐵道を布設せんとす
る可らず而して其測量は未だ
て爲すものあれば事皆新奇に
ども若し陸軍省に於て山の
分ある測量を仕遂げたる曉
を感ずること少く容易に事を
價修正の如きも他年一日之を
出來し居らば其利益決して少
官は物語れり

○肺病療養地　元理科大學敎
病を患へ昨年療養の爲め敎授
近傍に住居し居るが此頃本社
翰中に云く生は御承知の如く
罹り東西各地に轉寓して療養
も意に適したるは攝州須磨浦
クトルベルツ氏の如きも極め
の經驗と醫師の説とを述べん
峨々たる諸山を負ひ東南は一
は突兀として海中に峙立し其
せんとする趣きあり其間は無
霜あり殊に近傍は古跡名勝に
目に觸るゝ者皆爽快ならざるは
で往來し又陸上一帶の松林
の人は遊步の便利なるのみな
も海水浴に適するの便も備は
人體に適し冬は暖かにして寒
して三伏の熱を忘るべし空氣
閑を發生することと少く濕潤の
異も少なく人身の體温を奪
涼の感を與へ有熱の人に在て
氣一般の性質として多量の
林より不斷テレビン氣を發散
管の新陳代謝の機能を奮起
加すれば各種の慢性諸病
する地なり又最も病客の爲に
地には須磨浦病院ありて醫

○北海道集治監の給與收入額
戸釧路の三監なりしを今度
とし餘は孰れも分監と改ま
の爲め費消する經費も隨分
徒等が年々諸工事の爲め收入
し今昨二十三年中三集治監
金額を開くに左の如し

空知	給與	一萬六千六
	收入	一萬二千百
樺戸	給與	一萬四千七百
	收入	七千二百七十
釧路	給與	四千二百三
	收入	四千百十八圓
合計	給與	三萬四
	收入	二萬三千

乃ち給與の收入に超過する
して此金額は全く囚徒の爲
が更に賄費体給等をも加ふれ
べしと云ふ

○六勝寺の古瓦　今を距る
て勝字を寺號に附したる六勝
のみを存して孰れも廢寺と爲
疏水運河の工事を起し前の
門裏、南禪寺近傍等を開鑿